

1. 指導する領域別目標の確認

年間指導計画や生徒の実態等を基に、単元で指導する領域別目標を確認します。



学習指導要領の領域別目標

話すこと [発表]	イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。
--------------	---

2. 単元の目標と言語活動の設定

- 1で確認した領域別目標をもとに、単元の目標を設定します。
- 各学校が設定する学習到達目標(CAN-DOリスト)を基に、英語を用いて何ができるようになるのかを明らかにします。
- 言語活動を設定する際は、学習指導要領に記載している「言語活動の例」を参考にします。
- コミュニケーションを行う際には、その目的や場面、状況等を意識する必要があることから、単元の目標に言語活動の目的を示します。



卒業記念として20歳の自分にビデオメッセージを作るために、中学校生活で最も思い出に残っている出来事やその時の様子、未来の自分に伝えたいメッセージについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。

学習指導要領の言語活動例

話すこと [発表]	(イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。
--------------	---

3. 単元の評価規準の設定

- ・「思考・判断・表現」の評価規準には、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを必ず含めます。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」は、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている状況を評価します。
- ・目的や場面、状況などに応じたコミュニケーションを図ろうとするためには、「外国語の背景にある文化に対する理解」や、「聞き手、読み手、話し手、書き手への配慮」が必要です。このことから、「主体的に学習に取り組む態度」は、「思考・判断・表現」と基本的には一体的に評価することができます。



知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<知識> 間接疑問や<help+A+動詞の原形>の特徴やきまりに関する事項を理解している。 <技能> 中学校生活で最も思い出に残っている出来事やその時の様子、未来の自分に伝えたいメッセージについて、間接疑問や<help+A+動詞の原形>などの簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。	卒業記念として20歳の自分にビデオメッセージを作るために、中学校生活で最も思い出に残っている出来事やその時の様子、未来の自分に伝えたいメッセージについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。	卒業記念として20歳の自分にビデオメッセージを作るために、中学校生活で最も思い出に残っている出来事やその時の様子、未来の自分に伝えたいメッセージについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとしている。

4. 単元の指導と評価の計画の作成

「単元の指導と評価の計画」を作成する際には、単元終末の言語活動においてどのような生徒の姿を期待するのかを言語化し、その姿に生徒が到達できるように各時間の学習活動を設定します。その上で、どの時間に、どの観点から、何を評価するのかを整理します。また、生徒全員の学習状況を記録に残す場面を精選するとともに、単元の目標の達成状況を確実に把握するため、「指導と評価の計画」を立てることが重要であることをご確認ください。



時	学習活動	知	思	態	評価規準
1	○ ALTのモデルを聞いて、20歳の自分にビデオメッセージを送るという学習の見通しを持つ。 ○ 中学校の思い出について登場人物が会話をする様子が書かれた教科書の内容理解を通して、間接疑問の特徴やきまりを理解する。	○			間接疑問の特徴やきまりに関する事項を理解している。
2	○ 教科書の登場人物が発表する1年間の出来事を聞いて、その内容を理解する。 ○ 間接疑問を活用して、自分の将来の夢についてペアで話し合う。	○			間接疑問の特徴やきまりに関する理解を基に、自分の将来の夢についてペアで話し合っている。
3	○ 中学校を卒業した後について登場人物が会話をする様子が書かれた教科書の内容理解を通して、〈help+A+動詞の原形〉の特徴やきまりを理解する。	○			〈help+A+動詞の原形〉の特徴やきまりに関する事項を理解している。
4	○ 教科書の登場人物が発表する中学校生活で思い出に残った出来事について、「誰が」「何をしてくれたのか」を聞き取る。 ○ 〈help+A+動詞の原形〉を活用して、自分の中学校生活の思い出についてペアで話し合う。	○			〈help+A+動詞の原形〉の特徴やきまりに関する理解を基に、自分の中学校生活の思い出についてペアで話し合っている。
5・6	○ 外国語を使って世界で活躍する人たち（医者、研究者、旅館のオーナー）の記事を読んで内容を整理し、Opening/Body/Closingの構成に沿って1つの文章にまとめ、記事の要点を捉える。 ○ 将来どんな時に外国語を使うと思うのかを、ペアやグループで話し合う。	○	○		外国語を使って世界で活躍する人たちの記事の要点を捉え、Opening/Body/Closingの構成に沿って1つの文章にまとめている。
7	○ 再度ALTのモデルを聞いて、作成するビデオメッセージのイメージをもつ。 ○ 中学校3年間の振り返り、思い出に残っている出来事とその時の様子を思い浮かべながら、イメージマップを作成する。 ○ Opening/Body/Closingの構成に沿って、最も思い出に残っている出来事とその時の様子を整理し、スピーチメモを作成する。 ○ 1人1台端末に、考えたビデオメッセージを録画する。	○	○		卒業記念として20歳の自分にビデオメッセージを作るために、中学校生活で最も思い出に残っている出来事やその時の様子について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。
8	○ 録画しておいた自分のビデオメッセージを見て、前時までの学習状況を確認する。 ○ 20歳の自分が聞きたくするような工夫として、未来の自分に伝えたいメッセージを加える。 ○ グループでメッセージを発表し合い、内容面と言語面から気付いたことを伝え合う。 ○ 1人1台端末に、最終的なビデオメッセージを録画する。	◎	◎	◎	＜知識・技能＞ ※単元の評価規準と同様 ＜思考・判断・表現＞ ※単元の評価規準と同様 ＜主体的に学習に取り組む態度＞ ※単元の評価規準と同様

5. 評価の実際

（第8時に生徒が録画したビデオメッセージ）

Hi, Hanako! You and I are the same person.

I can't imagine how my life will be in the future.

What do you remember the most about your school life?

For me, the best thing about school life is spending time with my friends.

We share our fun stories.

We talk about our worries.

I can't imagine myself without friends.

Do you still keep in touch with them?

I hope this video reminds you Wakaba Junior High School!

- この生徒は、言語面から、誤りのない正しい英文で話すことができているため、知識・技能をaとしました。また、内容面から、「中学校生活で最も思い出に残っている出来事」「その時の様子」「自分に伝えたいメッセージ」が含まれているため、思考・判断・表現をbとしました。さらに、思考・判断・表現と一体的に評価し、主体的に学習に取り組む態度をbとしました。
- この生徒が、自分の思い出に残っている出来事をさらに詳しく述べたり、20歳の自分が聞きたくするような一層の工夫がなされていたりすれば、思考・判断・表現と主体的に学習に取り組む態度をaとすることも考えられます。
- 「c 努力を要する状況」となることが想定される生徒には、手立てを講じる必要があります。

